

海老名市長 内野まさるレポート

発行
内野まさるを支援する会
〒243-0434
海老名市上郷 1-18-24
TEL 046-206-4353



海老名市長 内野まさる

Profil

- 出生 昭和30年海老名市河原口に生まれる
- 経歴 ・有鹿小 / 海老名中 / 厚木高校卒業(生徒会長)・専修大学法学部卒・昭和53年海老名市役所入所・昭和58年27才で市議会議員に当選、連続4期当選。副議長・議長歴任。・平成15年市長選挙当選。3期12年 現在に至る。60才。
- 役職 ●高座清掃施設組合組合長(海老名、座間、綾瀬のごみ処理施設) ●全国市長会副会長(813市区) ●神奈川県市長会会長(19市) ●神奈川県国民健康保険団体連合会理事長 ●神奈川県総合計画審議会委員 ●神奈川県都市計画審議会委員 ●リニア中央新幹線建設促進同盟会監事

小田急は、自社所有地 3.5 畝に 600 億円を投じ、オフィス・商業ビル、高層分譲マンションなど 10 棟を来年から着工し、2025 年の完成を目指しています。

計画では、自由通路側にオフィスビル 2 棟・商業施設 2 棟、ホテルなど、文化会館側に高さ 100 畝の高層マンション 3 棟など。計画人口 2,200 人、業務関係 1,400 人としています。

市の試算では小田急開発が完了するまでに 57 億円、その後 1 年間に 15 億

円の税収が見込まれています。持続可能な都市づくりへの投資が実ろうとしています。

西口と駅間開発で民間投資額約 1,140 億円、居住人口 5,500 人、雇用者数 4,400 人(計画ベース)の近未来の街区が出現します。

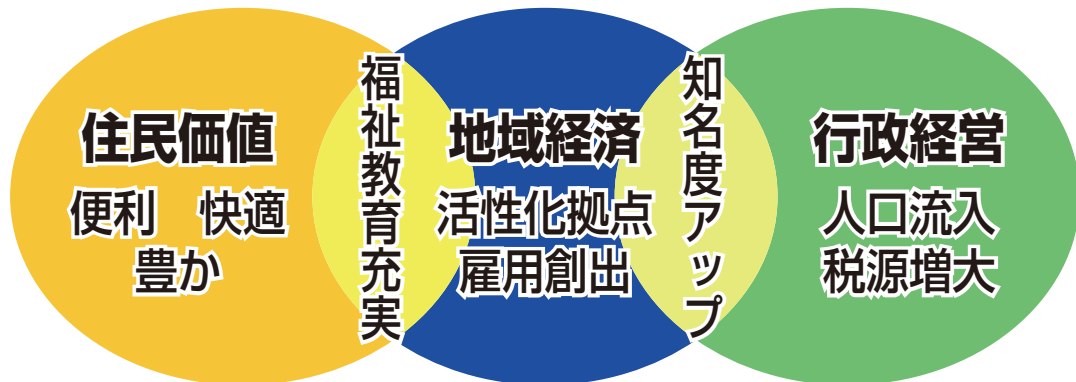
この 2 つの大型開発は、図のように市民、地域経済、行政に大きなインパクトと希望ある将来をもたらすこととなります。



ラレポート

イメージ図 (小田急 news release より)

えびな駅東西一体化 県央の中核都市にグレード UP



10 月 10 日海老名駅西口「まちびらき」が現地で開かれました。これは、海老名市の社会・経済を活性化させるとともに、住まう市民に誇りと満足感を抱かせる持続可能なまちづくりを目的とした区画整理事業です。

すでに、多くの企業が新店舗、ホテルを開業。クリニックモール、住宅も予定されており、計画が持ち上がってから 30 年、14.1 畝の所に、居住人口 3,300 人、雇用者 3,000 人の新しい街が誕生しました。

海老名駅間にビル 10 棟、 小田急 600 億円投資 3.5 畝にマンションやオフィス

待望ロマンスカー停車 来年 3 月から 市民要望実現



小田急ロマンスカー

来年 3 月のダイヤ改正時にロマンスカーが日中停車することになり、長年の市民の願いが実現することになりました。改めて、要望書に署名していただいた市民の皆さまにお礼申し上げます。

小田急・相鉄・JR3 線の海老名

駅乗降人員で 1 日 26 万人。県内 365 駅中 8 番目にランクされており、県央のターミナル駅へと、発展することが期待されています。

交通渋滞解消のため道路整備

西口開発に併せ道路整備に取り組んできましたが、県道門沢橋～下今泉線、市道上郷・河原口線と JR 線との立体化が遅れています。

継続 発展 安全安心